



平成 29 年 7 月 24 日

各報道機関文教担当記者 殿

JICA 草の根技術協力事業 「グアテマラ共和国・ティカル国立公園への観光回廊 における人材育成と組織化支援プロジェクト」始動！

金沢大学は、国際協力機構（JICA）草の根技術協力事業（草の根パートナー型）の第2フェーズとして平成29年4月に採択された「グアテマラ共和国・ティカル国立公園への観光回廊における人材育成と組織化支援プロジェクト」を開始しました。

本プロジェクトは、平成26年から開始され平成29年3月に終了した第1フェーズを承継するプロジェクトで、世界遺産であるグアテマラの「ティカル国立公園」の近隣住民が本世界遺産を活用した生活向上や生物文化多様性に配慮した環境維持のための活動を行うことなどを目指し、平成29年6月30日から約5年間の予定で開始されました。（詳細は別紙事業要約を参照）

つきましては、下記のとおり本プロジェクトの開始式を執り行いますので、金沢大学とJICAが連携して取り組む本国際協力事業について、当日の取材・報道をよろしくお願いいたします。

記

【グアテマラ共和国・ティカル国立公園への観光回廊における人材育成と組織化支援プロジェクト開始式】

日 時 : 平成 29 年 7 月 27 日 (木) 10 : 30 ~ (1 時間程度)

場 所 : 金沢大学本部棟 6 階 大会議室

出席者 : 【金沢大学】

山崎 光悦 学長

中村 誠一 人間社会研究域附属国際文化資源学研究センター教授

【国際協力機構北陸支部（JICA 北陸）】

仁田 知樹 北陸支部長

【本件に関する問い合わせ先】

◆国際協力機構北陸支部（JICA北陸）
北川 涼子（草の根技術協力事業担当）
TEL 076-233-5931

◆金沢大学
（本件照会先）人間社会系事務部会計課 堀井
TEL 076-264-5463
（広報担当）総務部広報室 張田
TEL 076-264-5024

事業要約

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	グアテマラ共和国
2. 事業名	ティカル国立公園への観光回廊における人材育成と組織化支援プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	世界遺産であるティカル国立公園の文化・自然資源を活用して周辺コミュニティの生活向上を目指すプロジェクトを実施したところ、研修受講による生活向上手段の習得や世界遺産に対する意識の変容で一定の成果を得られた。しかし、習得した技術で制作した製品を事業化するための住民グループの組織化、事業終了後も活動を持続するための体制作り、乱伐・火災から地域の熱帯林を守るために生物文化多様性の保全策が必要となることが認識された。それらの問題解決のために住民への人材育成と組織化の支援を骨格とした新たな活動が必要であると考えられる。
4. プロジェクト目標	ティカル国立公園の近隣住民が世界遺産を活用した生活向上や生物文化多様性に配慮した環境維持のための活動を行うと同時に、連携する諸機関と協力しながらその活動を自主的に継続してゆける体制を形成すること。
5. 対象地域	ペテン県フローレス市のティカル国立公園への観光回廊に位置する6コミュニティ(イシュル、エル・レマテ、エル・カプリナル、エル・カオバ、エル・ポルベニル、ソコツアル)
6. 受益者層(ターゲットグループ)	対象の6コミュニティの住民(人口約8,600人)
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 連携機関との活動持続のためのワーキンググループに参加し、住民の活動を率いるリーダーレベルの人材が育成される。 2. コミュニティ住民への技能研修を通じた人材育成が進み、ジェンダーに配慮した経済活動グループが形成される。 3. 文化遺産・自然遺産への知識が習得され、生物文化多様性保全活動が実施される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 連携機関との間でワーキンググループを形成する。組織を担い活動を継続発展させる人材を選定する。本邦研修を実施する(金沢・能登・五箇山を中心として実施予定)。第三国研修を実施する(ホンジュラス、エルサルバドルで実施予定)。グアテマラ連携機関との連携ネットワーク構築支援を行う。 2 経済活動と結びつく技能習得研修を実施する(観光客向け販売製品製作、文化遺産ガイド、自然ガイド等)。一村一品運動を視野に入れた特産品の創生支援を行う。観光をターゲットとするマーケティング支援を行う。リーダーによる住民の経済活動グループの組織化支援を行う。 3 世界遺産保護に結び付く児童・生徒の野外体験教育研修を実施する。自然資源研修:生態系保全活動(植林・植樹、森林火災防止の啓発活動等)を実施する。文化遺産研修:ティカル遺跡発掘修復技能研修(ユネスコと連携した遺跡修復、遺物整理、保存修復研修)を実施する。
8. 実施期間	2017年6月～2022年3月(4年9ヵ月)
9. 事業費概算額	99,837千円
10. 事業の実施体制	金沢大学が、グアテマラ文化スポーツ省文化遺産副省ティカル国立公園をカウンターパートとして、フローレス市役所、グアテマラ農牧省、グアテマラ観光庁、ユネスコなどと連携しながら実施する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人 金沢大学
2. 活動内容	1862年に創基、1949年に設置された国立総合大学。研究、教育(人材育成)、社会貢献を主要活動とする。